JASDAQ

平成18年３月期　第３四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年1月26日

会　社　名　　**株式会社ディーエムエス**　　（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号：　9782　）
（URL　http://www.dmsjp.co.jp/）
代　表　者　役　職　名　　代表取締役社長
　　氏　　名　　山本　克彦
問い合わせ先　責任者役職名　　執行役員管理本部長代行
　　氏　　名　　青木　千春　　TEL（03）3293－2961

１．四半期財務情報の作成等に係る事項

①　会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　　：　有
（内容）
・法人税等の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております

②　最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無　　：　無

③　連結および持分法の適用範囲の異動の有無　　：　無

２．平成18年３月期第３四半期財務・業績の概況（平成17年４月１日　～　平成17年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年３月期第３四半期	13,419	12.0	605	423.6	641	585.1	319	―
17年３月期第３四半期	11,986	―	115	―	93	―	△69	―
(参考)17年３月期	17,044		369		331		105	

	１株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
18年３月期第３四半期	43	95	―	―
17年３月期第３四半期	△9	61	―	―
(参考)17年３月期	12	30	―	―

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

［経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等］

当四半期の売上は、景気の本格的な回復傾向を追い風としながら、積極的に開発営業を展開したことにより、好調に推移しました。特に、ダイレクトメール部門では、平成17年10月に情報セキュリティ規格「ISMS認証基準」の認証取得をしたこと、業務センターに宛名出力用高速プリンターや最新鋭メーリングマシンを増設したことなどが奏効し、既存顧客と新規顧客からの受注が大幅に増加しました。一方、セールスプロモーション部門は、一部の既存顧客について受注規模の減少があったものの、全体としては、キャンペーン事務局関連業務や制作クリエイティブ・印刷の好調に支えられ、ほぼ横這いで推移しました。また、イベント部門においても、堅調に受注を維持しています。

利益は、業務センターの生産体制が一段と強化され、内製化促進と量産効果が加わって、大幅な増益を確保することができました。

この結果、当四半期連結会計期間の連結売上高は、134 億 19 百万円（前年同期比 14 億 32 百万円増）となりました。連結営業利益は、増収効果に加えて原価率や売上高経費率の改善により、6 億 5 百万円（同 4 億 89 百万円増）となりました。また、連結経常利益は、6 億 41 百万円（同 5 億 48 百万円増）となりました。これは、営業外収益が投資有価証券の売却や保険配当金の増加などにより、1 億 23 百万円（同 71 百万円増）となったことと、営業外費用が借入金の金利負担増加などにより、86 百万円（同 12 百万円増）となったものであります。連結当期純利益は、株式会社ディーエムエス保有のゴルフ会員権を売却したこと等による特別損失や税金費用を差し引き 3 億 19 百万円（同 3 億 89 百万円増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（百万円未満切捨）

	総　資　産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円　銭
18年3月期第3四半期	12,765	4,850	38.0	667　99
17年3月期第3四半期	14,928	5,786	38.8	796　88
(参考)17年3月期	14,957	5,996	40.1	823　43

【連結キャッシュ・フローの状況】

（百万円未満切捨）

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金および現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	370	203	△686	1,641
17年3月期第3四半期	△34	△787	991	1,228
(参考)17年3月期	302	△174	565	1,753

［財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等］

①　資産の状況

当四半期の流動資産は、主に現預金および営業債権が、前連結会計年度比 1 億 85 百万円、6 億 26 百万円それぞれ減少しました。一方、たな卸資産は同 2 億 19 百万円増加となったことにより、全体としては、52 億 25 百万円（前連結会計年度比 6 億 31 百万円減）となりました。

当四半期の固定資産は、生産設備の増強に努めましたが、一方で第二ビル（千代田区）の売却や減価償却の実施によって有形固定資産が同 1 億 30 百万円減少しました。さらに、投資その他の資産では、再評価繰延税金資産を、土地再評価差額金へ振替えるなどで同 15 億 54 百万円減少したことにより、全体としては、75 億 40 百万円（同 15 億 59 百万円減）となりました。

その結果、資産合計では、127 億 65 百万円（同 21 億 91 百万円減）となりました。

②　負債の状況

当四半期の流動負債は、主に仕入債務および短期借入金が、前連結会計年度比 6 億 96 百万円、2 億 95 百万円それぞれ減少しました。全体としては 35 億 53 百万円（同 9 億 43 百万円減）となりました。

当四半期の固定負債は、主に長期借入金が、同 2 億 42 百万円減少したものの、繰延税金負債が、同 1 億 17 百万円増加したことにより、全体としては、43 億 61 百万円（同 1 億 2 百万円減）となりました。

その結果、負債合計では、79 億 15 百万円（同 10 億 45 百万円減）となりました。

③　資本の状況

当四半期の資本は、主に利益剰余金およびその他有価証券評価差額金が、前連結会計年度比 57 百万円、2 億円それぞれ増加したものの、土地再評価差額金を再評価繰延税金資産と相殺したことなどで同 14 億 3 百万円減少したことにより、全体としては、48 億 50 百万円（同 11 億 45 百万円減）となりました。

利益剰余金の増減としましては、当四半期純利益 3 億 19 百万円を計上しましたが、配当金および役員賞与をそれぞれ 1 億 45 百万円、16 百万円支出したことに加えて、遊休資産の売却に伴う土地再評価差額金の取崩 99 百万円を行った結果、55 億 41 百万円（同 57 百万円増）となりました。

④　キャッシュ・フローの状況

当四半期における連結ベースの現金および現金同等物（以下「資金」という。）の残高は16億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億11百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3億70百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加や仕入債務の減少によってそれぞれ資金が、2億19百万円、6億96百万円減少したものの、税金等調整前四半期純利益の増加や売上債権の減少によってそれぞれ資金が、5億47百万円、6億26百万円増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、2億3百万円となりました。これは主に、投資有価証券売却による収入1億20百万円や保険資産の満期返戻金88百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、6億86百万円となりました。これは主に、短期借入金と長期借入金をそれぞれ2億95百万円、2億46百万円返済したことと、配当金の支払額1億44百万円によるものであります。

[参　考]

平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日　～　平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通　　期	18,250	700	340

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）　　44円　53銭

［業績予想に関する定性的情報等］

平成17年10月26日発表の連結業績予想と変わりはございません。

（注）　本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであります。投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

1．（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円、％）

科　目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	前四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増　減		（参考） 平成17年3月期
	金　額	金　額	金　額	増減率	金　額
（資産の部）					
Ⅰ 流動資産					
現金預金	2,070	1,681	389	23.2	2,256
受取手形及び売掛金	2,107	2,242	△134	△6.0	2,734
その他	1,046	1,396	△349	△25.0	866
流動資産合計	5,225	5,320	△95	△1.8	5,856
Ⅱ 固定資産					
有形固定資産	5,776	6,266	△490	△7.8	5,907
無形固定資産	33	33	△0	△1.4	33
投資その他の資産	1,731	3,307	△1,576	△47.7	3,159
固定資産合計	7,540	9,608	△2,067	△21.5	9,100
資産合計	12,765	14,928	△2,162	△14.5	14,957
（負債の部）					
Ⅰ 流動負債					
買掛金	1,900	2,307	△407	△17.6	2,597
短期借入金	794	1,436	△642	△44.7	1,093
その他	859	944	△84	△9.0	806
流動負債合計	3,553	4,687	△1,134	△24.2	4,496
Ⅱ 固定負債					
長期借入金	3,634	3,958	△324	△8.2	3,876
その他	727	495	231	46.7	588
固定負債合計	4,361	4,453	△92	△2.1	4,464
負債合計	7,915	9,141	△1,226	△13.4	8,961
（資本の部）					
資本金	1,092	1,092	－	－	1,092
資本剰余金	1,468	1,468	－	－	1,468
利益剰余金	5,541	5,341	200	3.8	5,483
土地再評価差額金	△3,669	△2,298	△1,370	59.6	△2,265
その他有価証券評価差額金	417	183	234	127.6	217
自己株式	△0	－	△0	－	－
資本合計	4,850	5,786	△936	△16.2	5,996
負債、少数株主持分及び資本合計	12,765	14,928	△2,162	△14.5	14,957

2．（要約）四半期連結損益計算書

（単位：百万円、％）

科　目	当四半期 (平成18年３月期 第３四半期)	前四半期 (平成17年３月期 第３四半期)	増　減		（参考） 平成17年３月期
	金　額	金　額	金　額	増減率	金　額
Ⅰ 売上高	13,419	11,986	1,432	12.0	17,044
Ⅱ 売上原価	11,778	10,787	990	9.2	15,254
売上総利益	1,640	1,199	441	36.8	1,789
Ⅲ 販売費及び一般管理費	1,035	1,083	△47	△4.4	1,420
営業利益	605	115	489	423.6	369
Ⅳ 営業外収益	123	51	71	138.7	77
Ⅴ 営業外費用	86	73	12	17.4	114
経常利益	641	93	548	585.1	331
Ⅵ 特別利益	7	―	7	―	―
Ⅶ 特別損失	102	118	△16	△13.9	124
税金等調整前四半期(当期)純利益	547	△25	572	―	207
税金費用	227	44	183	408.7	101
四半期(当期)純利益	319	△69	389	―	105

３．（要約）四半期連結剰余金計算書

（単位：百万円）

	当四半期 (平成18年３月期 第３四半期)	前四半期 (平成17年３月期 第３四半期)	増　減		（参考） 平成17年３月期
区　分	金　額	金　額	金　額	増減率	金　額
（資本剰余金の部）					
Ⅰ資本剰余金期首残高	1,468	1,443	24	1.7	1,443
Ⅱ資本剰余金増加高	－	24	△24	－	24
１．合併差益	－	24	△24	－	24
Ⅲ資本剰余金期末残高	1,468	1,468	－	－	1,468
（利益剰余金の部）					
Ⅰ利益剰余金期首残高	5,483	5,263	220	4.2	5,263
Ⅱ利益剰余金増加高	319	336	△17	△5.2	409
１．土地再評価差額金取崩額	－	336	△336	－	303
２．四半期（当期）純利益	319	－	319	－	105
Ⅲ利益剰余金減少高	261	258	2	1.0	188
１．配当金	145	145	－	－	145
２．役員賞与	16	19	△2	△13.1	19
３．連結子会社合併に伴う剰余金減少高	－	24	△24	－	24
４．土地再評価差額金取崩額	99	－	99	－	－
５．四半期（当期）純損失	－	69	△69	－	－
Ⅳ利益剰余金期末残高	5,541	5,341	200	3.8	5,483

４．セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期

（単位：百万円）

	ダイレクトメール	セールスﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ	イベント	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	9,517	3,652	299	11	13,480	△61	13,419
営業費用	8,862	3,193	258	9	12,324	489	12,814
営業利益	654	458	41	1	1,156	△551	605

前年同四半期

	ダイレクトメール	セールスﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ	イベント	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	8,119	3,597	293	13	12,023	△36	11,986
営業費用	7,846	3,263	258	12	11,380	490	11,871
営業利益	272	334	35	0	643	△527	115